(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2014-227643
(P2014-227643A)
(43)公開日　平成26年12月8日(2014.12.8)

(51)Int.Cl.	F I	テーマコード（参考）
A41D 13/06 (2006.01)	A41D 13/06	3B011

審査請求 未請求　請求項の数 3　書面　（全 7 頁）

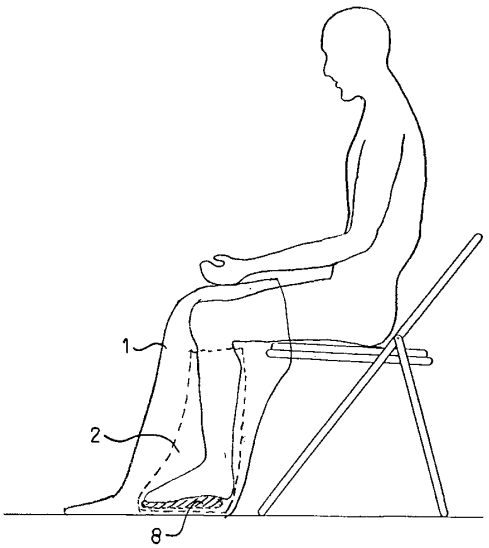
(21)出願番号　特願2013-124151 (P2013-124151)
(22)出願日　平成25年5月27日 (2013.5.27)

(71)出願人　513148141
菅原　和枝
北海道千歳市住吉３丁目７番３号
(72)発明者　菅原　和枝
北海道千歳市住吉３丁目７番３号

Fターム(参考)　3B011 AA13　AB01　AC01　AC13

(54)【発明の名称】発熱体収納ポケット付き膝掛け

(57)【要約】　（修正有）
【課題】効率よく十分なる足暖効果を有する足暖用物品を提供する。
【解決手段】適宜サイズの膝掛け本体布１を設けるとともに、該本体布の一方の面に足挿入ポケット２を設け、該挿入ポケット内面下方に、発熱体用ポケットを設けた発熱体収納ポケット付き膝掛けとする。
【選択図】図１１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
適宜サイズの膝掛け本体布を設けるとともに、該本体布の一方の面に足挿入ポケットを設け、該挿入ポケット内面下方に、発熱体用ポケットを設けたことを特徴とする発熱体収納ポケット付き膝掛け。
【請求項２】
足挿入ポケット下方に布体折曲部を形成してなる請求項１記載の発熱体収納ポケット付き膝掛け。
【請求項３】
発熱体用ポケットを、足挿入ポケット内における膝掛け本体布側と対向する位置に設けてなる請求項１または２記載の発熱体収納ポケット付き膝掛け。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
この発明は、足暖に用いて便利なる膝掛けに関する。
【背景技術】
【０００２】
従来より、種々の足暖手段が利用されているが、本発明にて示すような足暖機能を有する膝掛けは見あたらない。
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００３】
古来より、足先を温めると身体全体が暖まることが知られている。
一般的なものとしては、湯たんぽ、電気あんか等があり、イスに腰掛けた状態にては膝掛けが多用されている。この膝掛けは、厚手にて保温性に富む布体をひざの上に掛けて、冷気からひざや膝下を覆って保温するものである。しかしながら、冷え性の人にとってはこの従来からの膝掛けではその保温力が不足して、この冷え対策として不満足である。
電気あんか等を併用する方法も考えられるが、電源と電力を必要とする上に、電気コードがあるので移動しにくいという問題があって、好適なる手段が見あたらないのが現状である。
本発明は以上に鑑み、発熱体を併用することにて冷え性の人でも十分なる足先保温効果の得られる新規かつ有用なる手段を提供することを目的として発明されたものである。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
課題を解決する手段として本発明は以下の構成とした。
すなわち、適宜サイズの膝掛け本体布を設けるとともに、該本体布の一方の面に足挿入ポケットを設け、該挿入ポケット内面下方に、発熱体用ポケットを設ける。
本発明は以上の構成よりなる発熱体収納ポケット付き膝掛けである。
【発明の効果】
【０００５】
本発明は下記の効果を有する。
１．使用時において、足挿入ポケットの上面に膝掛け本体布が位置するので、膝下の足部と足全体の相乗的保温効果を得ることができる。
２．足挿入ポケット内に発熱体用ポケットを設けたので、市販の発熱体と併用することにて、十分なる足暖効果を得ることができる。
３．使用時において、足裏に布体を介して発熱体がほぼ水平に位置するので、足暖時の重要個所である足裏を重点的に温めることができる。
４．足挿入ポケット下方に布体折曲部を設けることにより、発熱体からの放散熱量の外部への漏洩を少なくすることができる。
【図面の簡単な説明】

【０００６】
【図１】　本発明の正面図
【図２】　本発明の背面図
【図３】　本発明の右側面図
【図４】　本発明の要部構造説明図
【図５】　本発明の要部構造説明図（発熱体収納時）
【図６】　本発明の使用説明図（要部）
【図７】　本発明の要部説明図
【図８】　本発明の要部説明図
【図９】　本発明の他例における要部説明図
【図１０】　本発明の要部説明図
【図１１】　本発明の使用説明図
【発明を実施するための最良の形態】
【０００７】
以下、本発明の実施形態について説明する。
図において、１は膝掛け本体布で、およそ８０センチメートル角の厚手布体である。
２は足挿入ポケットで、厚手布体によりポケット状に形成され、その上端は挿入部３としての開口可能部分であり、本ポケットは前記膝掛け布体の裏面やや下部に縫着される。
この足挿入ポケットは、以下のごとく形成される。
足挿入ポケットの膝掛け本体側には、このポケット高さより大なる長さの布体の下部をポケット内側に折曲してその上部と側部を縫合形成してなる、本体側折曲縫合布体４が縫着される。該縫合布体と対向する位置には、ポケット側折曲縫合布体５が形成される。
このポケット側折曲縫合布体は、前記の縫合布体同様に、その下部を内側に折曲して、その要部が縫合形成される。この要部とは、折曲上端の中央部を除く個所を縫合し、また、この中央部両端より下方に向かって直線状に縫合される。また、双方の縫合布体下端は互いに縫合して、ポケット構造が形成される。
この縫合にて、図５にて示すように、発熱体用ポケット６が形成される。この発熱体用ポケットの上部内面には、係止部が設けられ、本例では面ファスナー７を採用している。
すなわち、このポケット上部内面には面ファスナー雄片が、対向するポケット上部内面には雌片が各々縫着されて、この双方の面ファスナーにてこのポケット上部は係止もしくは係止解除による着脱が可能である。８は発熱体としての市販の使い捨てタイプのカイロであり、前記の発熱体用ポケットに収納される。
【０００８】
次に、本発明の使用について説明する。
本発明の使用に際しては、まず市販の使い捨てタイプのカイロを発熱させ、この発熱したカイロを発熱体用ポケットに収納し、係止部の係止にて使用時のポケットからの離脱を防止する。この膝掛けの足挿入ポケットの挿入部を開いて、足先を挿入していく。
足先にてこの足挿入ポケットは広がりながら徐々に足先がポケット底部に向かって挿入進行する。このとき、つま先端は本体側折曲縫合布体に接しつつ下降し、かかとはポケット側折曲縫合布体に接してポケットを広げながら下降していく。
つま先がポケット下底位置に至れば、図６のごとくかかとがポケット下底を踏むこととなり、発熱体を収納した発熱体用ポケットは足裏の下となる。
そのために、この発熱体から放散された熱量はポケット布体を介して足裏に伝わって足裏を温め、この熱は足挿入ポケット内に広がって、このポケット内に位置する膝下の足部を暖める。また、この足挿入ポケット上には膝掛け布が位置して、この膝掛け布下の足を保温するために、足全体の保温効果を得ることができる。また、この発熱体近傍の布体は折曲にて二重になっており、適度の保温を保ちつつ外部への熱放散を緩和する機能を有している。なお、発熱体はポケット内に位置するので、低温やけどの恐れはない。
【０００９】
図９は本発明の他例を示すもので、発熱体ポケットを、その中央に縫合部を設けて左右

いずれかのポケットもしくはその双方のポケットに発熱体を収納できるようにしたものである。従って、一方のポケットのみに発熱体を入れると、足先をこの発熱体に接近させたり遠ざけたりして、足暖力の調整ができる。また双方のポケットに発熱体を入れると、より強力な足暖効果を得ることができる。なお、発熱体用ポケットに仕切りを設けずに、収納した発熱体のポケット内位置を適宜に選択する方式とすることもできる。

以上、本発明について記したが、本発明は膝掛け布体と足挿入ポケットおよび発熱体の三要素にて足暖を得るところにその特徴を有するものである。

従来はこのような手段が無く、単なる厚手布体としての膝掛けが主流であり、足に巻きつけたりして用いていた。オフィスなどの床の冷たさによる冷気から足抹消の冷えを防止するための手段として用いられていたのである。

また、腰当て付きで、下部の布を折り返してその両サイドを縫合して、中心を面ファスナーで係止し、ここに両足を入れるものがあったが、（特開２００３－８９９０８号）発熱体は用いていないため、おのずからその足暖効果は限定されるものであった。

これに対し本発明は、発熱体としての使い捨てカイロに着目して、これをポケット内に収納することにて、効果的に足暖を行うための手段と構成を提供することができるものであり、従来にない大きな取暖方法となったのである。

【００１０】

なお、発熱体用ポケットの挿入口係止手段を記述例では、面ファスナー方式としたが、他にボタン、ホック、紐等の手段による係止としてもよい。また、足挿入ポケットを、折曲した２枚の布体下端を互いに縫着するものとして示したが、一枚布を横に重ね合わせ、底部を折曲し、適宜に縫製して設けてもよい。

布体としては、ラシャ布、断熱材封入布体その他適宜に選択して製作することができる。

膝掛け本体布と足挿入ポケットは、既例では縫着形成したが、面ファスナーその他の係止手段として、着脱可能に設けてもよい。また、足挿入ポケットに対し発熱体用ポケットも同様に着脱可能としてもよく、この場合は、足挿入ポケット内の任意の位置に発熱体用ポケットを位置させることとして、足の好みの位置を重点的に暖めることができる。

本発明は、足暖を目的としたものであるが、非通気性袋体に収納するなどの清潔保持手段を用いれば、弁当その他の食品の保温にも応用が可能と思われる。また、災害時避難場所での体保温にも有効である。

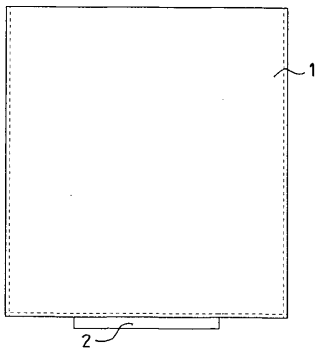
以上のごとく、本発明によってより効果的なる足暖手段を得られるとともに、その使用場所の限定もなく、比較的コストパフォーマンスにも負担のない、有用なる手段を得ることができる。

【符号の説明】

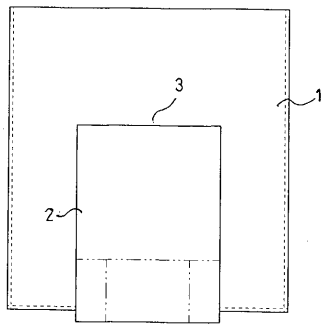
【００１１】

１　膝掛け本体布
２　足挿入ポケット
３　挿入部
４　本体側折曲縫合布体
５　ポケット側折曲縫合布体
６　発熱体用ポケット
７　面ファスナー
８　発熱体
９　縫合部（本体側）
１０　縫合部（ポケット側）
１１　縫合部（ポケット側中央）

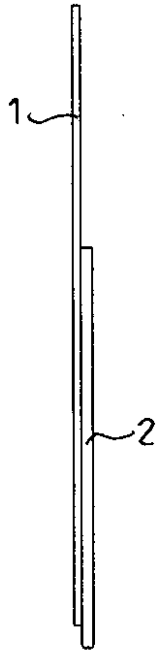
【図１】



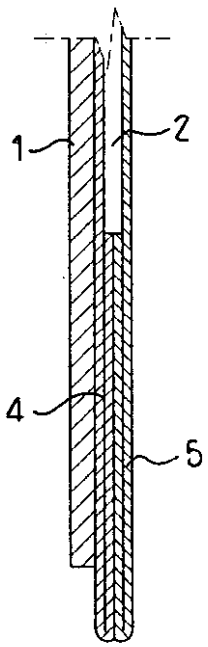
【図２】



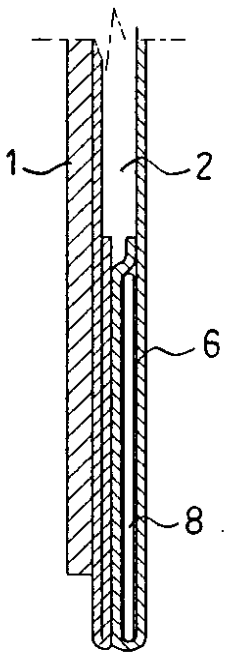
【図３】



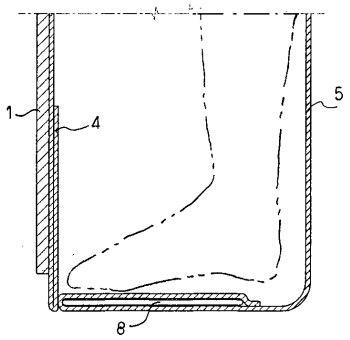
【図４】



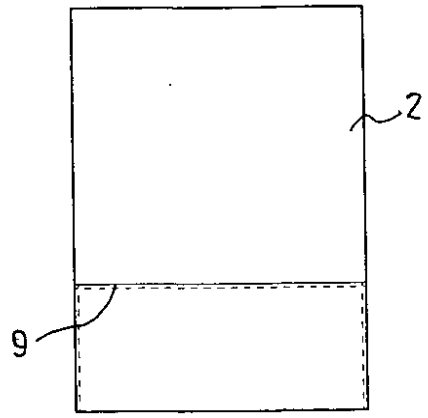
【図５】



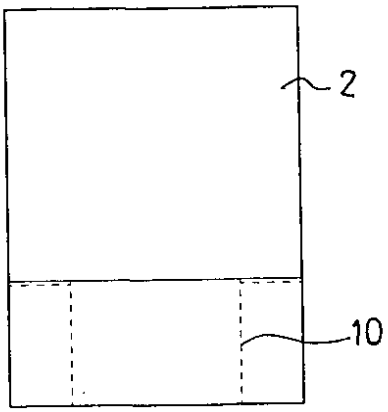
【図６】



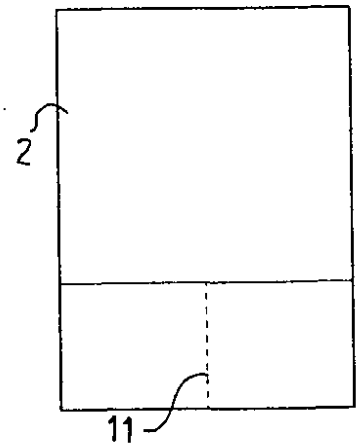
【図７】



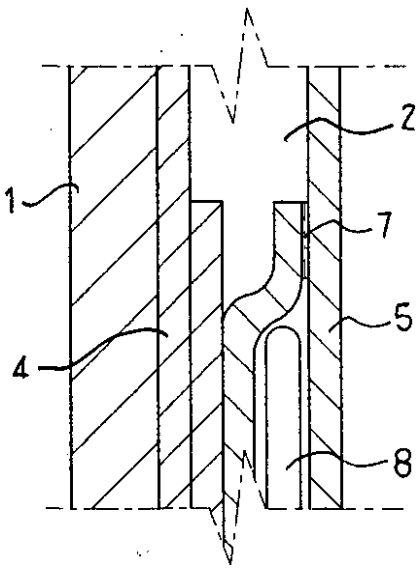
【図８】



【図９】



【図１０】



【図１１】

